

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月29日

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3316 URL <http://www.tcs-net.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉丸 弘二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 赤木 正人 (TEL) 03-3280-2711  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,364	△0.6	30	△77.9	26	△80.0	12	△83.6
26年3月期第3四半期	4,391	△15.2	136	11.2	131	6.9	74	△78.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第3四半期	9.70		—					
26年3月期第3四半期	59.02		—					

(注1) 当社は、平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。1株当たり四半期純利益につきましては、前事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して算出した金額を記載しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第3四半期	3,759		2,068		55.0	
26年3月期	3,912		2,111		54.0	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,068百万円 26年3月期 2,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	15.4	300	15.7	291	15.6	180	32.8	142.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期3Q	1,260,000株	26年3月期	1,260,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	44株	26年3月期	—株
----------	-----	--------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期3Q	1,259,976株	26年3月期3Q	1,260,000株
----------	------------	----------	------------

(注) 当社は、平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により、輸出産業を中心に企業業績・雇用情勢等の改善が見られるなど緩やかな景気回復基調にある一方、内需企業においては、急激な円安進行に伴い、原材料の価格高騰や製品価格の上昇が懸念されるなど、先行き不透明感は払拭できない状況となっております。

当社の属するIT業界におきましては、IT市場規模の成長率は前年比ほぼ横ばいで推移する見通しとなっており、サーバー等の第二世代プラットフォームであるハードウェア市場はマイナス成長が予測され、クラウド、ビッグデータ、ソーシャル、モビリティといった第三世代プラットフォームにおけるビジネス成長が顕著化する傾向にあります。

このような状況のもと、当社は、「最も安心してITインフラを任せられる企業」を企業ビジョンと定め、顧客価値を創造するため、「顧客を深く理解すること」「最適なIT資源を提供すること」「最新の技術経験を提供すること」「最新の製品を提供していくこと」を行動指針とし、第二世代プラットフォームと第三世代プラットフォームのビジネスバランスを考慮しつつ、新規顧客獲得と既存顧客への深耕を目指した体制作りと営業活動を行ってまいりました。

当第3四半期累計期間においては、クラウド技術を元にしたデータセンター事業は伸長いたしました。ハードウェア、ソフトウェアといったIT製品の利益率低下及び大型導入支援サービスの第4四半期集中により、売上、利益面で低迷いたしました。

また、販売費及び一般管理費につきましては、実施時期の見直しや最適化・効率化を検討し、削減努力を行ってまいりました。

受注残高につきましては、585百万円(前年同四半期は829百万円)となりました。

この結果、当社の当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高4,364百万円(前年同四半期比27百万円減、0.6%減)、営業利益30百万円(前年同四半期比105百万円減、77.9%減)、経常利益26百万円(前年同四半期比105百万円減、80.0%減)、四半期純利益12百万円(前年同四半期比62百万円減、83.6%減)となりました。

なお、当社は「情報システム関連事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末の総資産は3,759百万円となり、前事業年度末に比べ153百万円減少しております。これは、主に現金及び預金が198百万円増加及びその他流動資産が100百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が275百万円減少及びその他投資資産が141百万円減少したことによるものであります。負債については1,690百万円となり、前事業年度末に比べ110百万円減少しております。これは、主に前受金が120百万円増加しましたが、買掛金が155百万円減少及び賞与引当金が51百万円減少したことによるものであります。純資産については2,068百万円となり、前事業年度末に比べ43百万円減少しております。これは、主に四半期純利益の計上が12百万円ありましたが、配当金の支払いによる減少63百万円があったことにより、利益剰余金が50百万円減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

顧客のIT投資に対する動向が見通し難い状況ではありますが、受注残高は第2四半期末に比べ増加しており、また期末に向けIT投資案件が見込まれることから、現時点では、平成26年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,115,999	1,314,109
受取手形及び売掛金	1,324,683	1,049,221
商品	104,458	112,010
仕掛品	11,710	20,690
貯蔵品	194	140
その他	478,684	578,779
貸倒引当金	△132	△105
流動資産合計	3,035,598	3,074,847
固定資産		
有形固定資産	286,930	243,792
無形固定資産	60,193	40,239
投資その他の資産		
投資有価証券	60,555	72,739
その他	494,008	352,221
貸倒引当金	△24,773	△24,764
投資その他の資産合計	529,790	400,196
固定資産合計	876,914	684,228
資産合計	3,912,513	3,759,075
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	831,725	676,619
未払法人税等	28,807	865
前受金	287,672	408,440
賞与引当金	93,450	41,460
その他	150,929	195,602
流動負債合計	1,392,584	1,322,988
固定負債		
退職給付引当金	272,295	279,001
その他	135,734	88,186
固定負債合計	408,029	367,188
負債合計	1,800,613	1,690,176
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	867,740	867,740
資本剰余金	447,240	447,240
利益剰余金	786,926	736,147
自己株式	—	△62
株主資本合計	2,101,906	2,051,064
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,993	17,835
評価・換算差額等合計	9,993	17,835
純資産合計	2,111,899	2,068,899
負債純資産合計	3,912,513	3,759,075

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,391,355	4,364,013
売上原価	3,692,378	3,777,121
売上総利益	698,977	586,892
販売費及び一般管理費	562,865	556,779
営業利益	136,111	30,112
営業外収益		
受取利息	312	215
受取配当金	1,758	1,848
保険配当金	531	885
還付加算金	727	—
その他	61	169
営業外収益合計	3,391	3,119
営業外費用		
支払利息	917	6,838
貸倒引当金繰入額	6,426	—
その他	840	95
営業外費用合計	8,184	6,934
経常利益	131,318	26,298
特別損失		
固定資産除却損	314	173
特別損失合計	314	173
税引前四半期純利益	131,003	26,124
法人税、住民税及び事業税	8,044	2,025
法人税等調整額	48,595	11,878
法人税等合計	56,640	13,903
四半期純利益	74,363	12,220

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、情報システム関連事業を主要な事業内容とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。